

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	高梁市歴史的町並み環境整備
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	高梁市
④ 計画期間	平成28年度～31年度
⑤ 計画の目標	歴史的な町並みや建造物等の保存・修景活用等により、住環境の向上と歴史的風致の向上、交流人口の増加を図り、地域文化と心豊かな人を育むまちづくりを実現する。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	高梁市（産業経済部産業観光課）において令和2年4月に実施した。
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「観光入り込み客数調査」</p> <p>定義：入り込み客数の増加率＝評価時点の入り込み客数／H27 調査時の入り込み客数</p> <p>評価方法：</p> <p>結果：従前値：114%（H28年度）⇒目標値：115%（H31年度）⇒実績値：93%</p> <p>結果の分析：高梁地区は、備中松山城では、雲海の山城・ねこ城主等の注目もあり順調に伸びていたが、コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響による施設の閉鎖にともない、目標値の達成に至っていない。</p> <p>吹屋地区は、平成30年豪雨災害以降施設への入館を事前予約制に変更した施設もあり、総体的に入り込み客数が減少している。イベント等により交流人口は、増加傾向にあるので、入り込み客数の増加につなげていけるように取り組んでいきたい。</p>
⑦ 結果の公表方法	市ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	<p>（事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。）</p> <p>高梁市歴史的風致維持向上計画や高梁市景観計画に沿った街なみ整備を引き続き進めていき地域全体で魅力を増すように取り組むを行っていく。</p> <p>保存伝承活動推進事業では、少子高齢化が進む過疎地域においても、地域の伝統芸能を引き続き継承していけるように活動助成を行い地域の活性化につなげていく。</p> <p>施設修繕事業を計画的に行い、集客力の増加・交流人口の増加を図り地域の活性化を目指していく。</p>
⑩ その他	（特記すべき事項があれば記載）

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。